

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会体育 専門課程	競技スポーツ科 サッカー専攻	夜・通信	160 時間	160 時間	
	競技スポーツ科 バドミントン専攻	夜・通信	160 時間	160 時間	
	競技スポーツ科 陸上競技専攻	夜・通信	160 時間	160 時間	
	ウェルネス IT 科	夜・通信	160 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

※ HP [https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03\\_01.pdf](https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf)  
 ※ 『令和3年度 事業報告』内に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	教育関連事業会社経営者	2022.4.1～ 2026.3.31	組織・総務関係に対する専門的な知見
非常勤	スポーツ関連会社経営者	2022.4.1～ 2026.3.31	後援会役員
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
設置者名	学校法人タイケン学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各教科の担当教員が授業計画の作成を行い、3月に各教員によりシラバスを提出。提出後、3月に教務課、教務主任で教務会議を行い確認、最終的な確認を学校長が行う。不適切な箇所等は、訂正依頼し、再度会議を行い確認する。シラバスの公表時期については4月の新入生オリエンテーション、進級オリエンテーション後にホームページ内で公表。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html">https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法に基づき、担当教員が総合的に評価をすることで、厳格かつ適正に単位を授与している。標準的な達成レベルを具体的な学習到達目標とし、目標到達度を測るために相応しい評価方法(試験、小テスト、課題、レポート、発表・実技、授業への参加・意欲、その他)と評価配分を行っている。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各試験の成績は、1科目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。

試験による合格点はD以上とする

G P A制度を利用し、授業科目の成績評価に対して点数化し、その点数を科目の総単位数で割って算出した平均値で評価する。

成績評価に対しての点数は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点、F=0点とする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業条件：成績評価の「A(100～90)」「B(89～80)」「C(79～70)」「D(69～60)」及び「P(単位認定：特別教育科目(校外実習)における評価)」を合格とし、合格した科目については所定の単位を認定。2月の卒業判定会議にて校長が認定。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html>

## 様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
設置者名	学校法人タイケン学園

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HP及び情報公開ファイル <a href="https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf">https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

### 2. 教育活動に係る情報

#### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		社会体育専門課程	競技スポーツ科 サッカー専攻	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1720時間 単位時間/単位	720時間 単位時間/単位	1140時間 単位時間/単位	160時間 単位時間/単位	単位時間/単位	240時間 単位時間/単位
			2260 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		0人	0人	1人	0人	1人	

#### カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）各教科の担当教員が授業計画の作成を行い、3月に各教員によりシラバスを提出。提出後、3月に教務課、教務主任で教務会議を行い確認、最終的な確認を学校長が行う。不適切な箇所等は、訂正依頼し、再度会議を行い確認する。  
シラバスの公表時期については4月の新入生オリエンテーション、進級オリエンテーション後にホームページ内で公表。

#### 成績評価の基準・方法

（概要）各試験の成績は、1教目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。  
試験による合格点はD以上とする

#### 卒業・進級の認定基準

（概要）個別相談・指導等の対応電話連絡：本人・保護者  
担任との面談：本人・保護者 ※授業出席・単位取得指導等

#### 学修支援等

（概要）個別補講、学園グループ内での他校からの情報提供などによる支援等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次 学内にて会社説明会、履歴書作成・面接指導、マナーアップ指導等			
2年次 インターンガイダンス・実習、合同就職説明会等参加等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
幼児体育指導者、スポーツリーダー、JATI認定トレーニング指導者 健康運動実践指導者、フィットネスクラブ・マネジメント技能士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
クラス担任教員による個別面談や三者面談（学生・保護者・クラス担任）などを通して就学継続へのフォローをはかる。また、学生に対するアンケート調査を実施して、学生に対する社会背景を把握し、当校としての対応を絶えず図る。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		社会体育専門課程	競技スポーツ科 ベースボール専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1720時間 単位時間/単位	720時間 単位時間 /単位	1140時間 単位時間 /単位	160時間 単位時間 /単位	240時間 単位時間 /単位	
			2260 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	0人	0人	1人	0人	1人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 各教科の担当教員が授業計画の作成を行い、3月に各教員によりシラバスを提出。提出後、3月に教務課、教務主任で教務会議を行い確認、最終的な確認を学校長が行う。不適切な箇所等は、訂正依頼し、再度会議を行い確認する。 シラバスの公表時期については4月の新入生オリエンテーション、進級オリエンテーション後にホームページ内で公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 各試験の成績は、1教目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。 試験による合格点はD以上とする
卒業・進級の認定基準
(概要) 個別相談・指導等の対応電話連絡：本人・保護者 担任との面談：本人・保護者 ※授業出席・単位取得指導等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	2人 (50%)	2人 (50%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 佐川急便株式会社(運送業) 日本ハードメタル株式会社(製造業)			
(就職指導内容)			
1年次 学内にて会社説明会、履歴書作成・面接指導、マナーアップ指導等			
2年次 インターンガイダンス・実習、合同就職説明会等参加等			
(主な学修成果(資格・検定等))			
幼児体育指導者、スポーツリーダー、JATI認定トレーニング指導者 健康運動実践指導者、フィットネスクラブ・マネジメント技能士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員による個別面談や三者面談(学生・保護者・クラス担任)などを通して就学継続へのフォローをはかる。また、学生に対するアンケート調査を実施して、学生に対する社会背景を把握し、当校としての対応を絶えず図る。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		社会体育専門課程	競技スポーツ科 陸上競技専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1720時間 単位時間/単位	720時間 単位時間 /単位	1140時間 単位時間 /単位	160時間 単位時間 /単位	240時間 単位時間 /単位	
			2260 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	0人	0人	1人	0人	1人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要) 各教科の担当教員が授業計画の作成を行い、3月に各教員によりシラバスを提出。提出後、3月に教務課、教務主任で教務会議を行い確認、最終的な確認を学校長が行う。不適切な箇所等は、訂正依頼し、再度会議を行い確認する。</p> <p>シラバスの公表時期については4月の新入生オリエンテーション、進級オリエンテーション後にホームページ内で公表。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要) 各試験の成績は、1教目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。</p> <p>試験による合格点はD以上とする</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>(概要) 個別相談・指導等の対応電話連絡：本人・保護者 担任との面談：本人・保護者 ※授業出席・単位取得指導等</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次 学内にて会社説明会、履歴書作成・面接指導、マナーアップ指導等			
2年次 インターンガイダンス・実習、合同就職説明会等参加等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
幼児体育指導者、スポーツリーダー、JATI認定トレーニング指導者			
健康運動実践指導者、フィットネスクラブ・マネジメント技能士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員による個別面談や三者面談(学生・保護者・クラス担任)などを通して就学継続へのフォローをはかる。また、学生に対するアンケート調査を実施して、学生に対する社会背景を把握し、当校としての対応を絶えず図る。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		社会体育専門課程	ウェルネス IT 科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1770時間 単位時間/単位	1500時間 単位時間/ /単位	90時間 単位時間/ /単位	120時間 単位時間/ /単位	60時間 単位時間/ /単位	
			1770 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	0人	0人	1人	0人	1人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要) 各教科の担当教員が授業計画の作成を行い、3月に各教員によりシラバスを提出。提出後、3月に教務課、教務主任で教務会議を行い確認、最終的な確認を学校長が行う。不適切な箇所等は、訂正依頼し、再度会議を行い確認する。  
シラバスの公表時期については4月の新入生オリエンテーション、進級オリエンテーション後にホームページ内で公表。

成績評価の基準・方法

(概要) 各試験の成績は、1教目100点満点として90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をEとする。  
試験による合格点はD以上とする

卒業・進級の認定基準

(概要) 個別相談・指導等の対応電話連絡：本人・保護者 支弁者  
担任との面談：本人 ※授業出席・単位取得指導等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	1人 (100%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
1年次 学内にて会社説明会、履歴書作成・面接指導、マナーアップ指導等			
2年次 インターンガイダンス・実習、合同就職説明会等参加等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
幼児体育指導者、スポーツリーダー、JATI認定トレーニング指導者 健康運動実践指導者、フィットネスクラブ・マネジメント技能士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%
(中途退学の主な理由) 経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任教員による個別面談(学生・支弁者・クラス担任)などを通して就学継続へのフォローをはかる。また、学生に対するアンケート調査を実施して、学生に対する社会背景を把握し、当校としての対応を絶えず図る。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
競技スポーツ科	150,000 円	650,000 円	350,000 円	
ウェルネス IT 科	150,000 円	650,000 円	350,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html">https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流</p> <p>評価委員会の構成 委員定数 3 名 選出区分・・・関連企業、地域関係者、卒業生</p> <p>評価結果の活用方法 評価結果をもとに総括を行い、学校長を全体の責任者として必要などころは年度末までに改善などを行い、次年度の教育活動および学校運営の方針をたてていく。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 社員	2022 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	卒業生
個人事業主	2022 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日	関連企業代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html">https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html">https://www.taiken.ac.jp/kitakyushu/index0623.html</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人



(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。